

奈良市幼保再編実施計画に基づく 市立幼保施設の再編実施方針について

— 令和元年8月公表分 —

① [市立幼保施設の再編について]

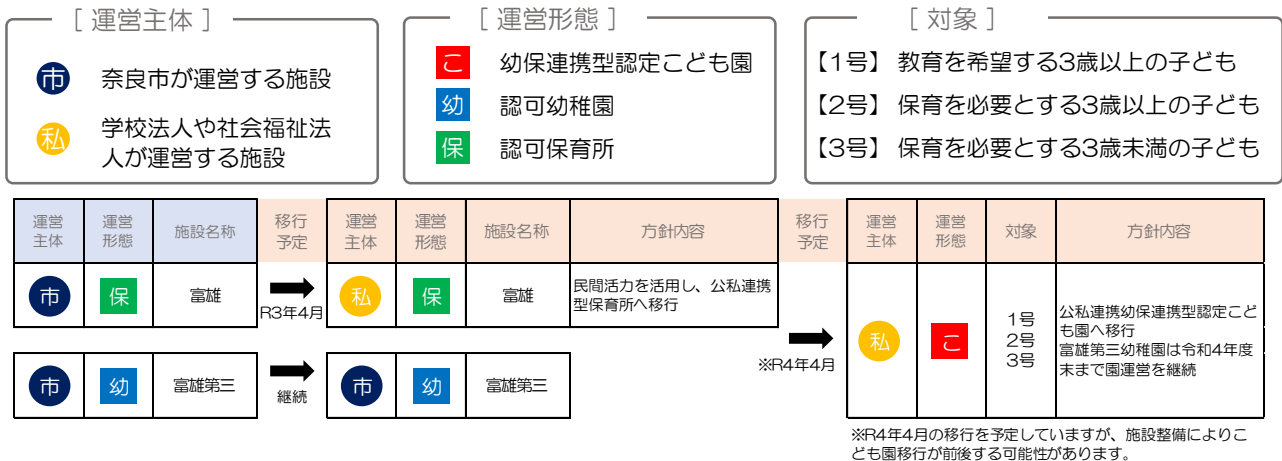
本市では、増加・多様化する保育ニーズに的確に対応していくため、少子化及び厳しい財政状況下においても、安定的・継続的に質の高い教育・保育を提供していくことをめざしています。

その取組の中核を担うものとして、「奈良市幼保再編基本計画・実施計画」及び「市立幼保施設の民営化についての基本的な考え方」に基づき、市立幼保施設を統合再編するとともに、民間活力を最大限に活用（いわゆる民間移管）することで、適切な集団規模の中で等しく教育・保育を受けることができる就学前児童のよりよい教育・保育環境の整備を積極的に進めています。

② [今回公表分について]

今回の公表では、富雄・富雄第三中学校区における市立幼保施設の再編実施方針として、本地域における就学前児童の保育・教育環境について、適切な集団規模を確保するとともに、保育の質を確保しながら多様な保育ニーズに迅速かつ効率的に対応すること、さらに園舎規模の拡大と施設の老朽化改善のための施設整備を目的として、富雄保育園及び富雄第三幼稚園を民間移管及び統合することにより、本地域における中心的な教育・保育施設としての役割を担う公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けた取組を進めてまいります。

表記について



③ [市立幼保施設の今後の在り方について]

これまでの民間移管の取組として、鶴舞こども園及び右京保育園については、令和2年度の公私連携幼保連携型認定こども園への移行に向け、平成30年度中に移管先法人の選定を行いました。当該2園については、現在引継保育を実施するとともに、在園児保護者・移管先法人・市による三者協議会において、施設環境の改善や保育サービスの拡充等について協議を行っているところです。

今後、令和元年10月より開始される幼児教育・保育の無償化による教育・保育ニーズの変化や地域の実情等を注視し、民間移管を中心に市立幼保施設の今後の在り方を検討してまいります。

令和元年8月
子ども未来部 子ども政策課